

令和7年度 医療機関調査(案)

【資料3-6】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
て 機 関 に 関 連 す る 医 療 機 関	問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)	
	問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)	
お た ず ね し ま す (「医療と介護の連携について」)	問3 府中市民の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに○)	○
	《問3で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします》 問3-1 そのように考える理由は何ですか。(3つまでに○)	
	《病院の退院支援担当者以外の方におたずねします》 問4 退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。(1つに○)	
	問5 介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ソそれぞれ1つに○)	
	問6 貴事業所(貴機関)では、MCS(メディカル ケア ステーション)を活用していますか(1つ)	
	《問6で「3. 活用していない」とお答えの方におたずねします》 問6-1 その理由は何ですか。	
	問7 介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。(1つに○)	
	問8 医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(3つまでに○)	
	問9 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職は何ですか。(2つまでに○)	
	問10 今後、次のような認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けたいですか。(いくつでも○)	
【診療所(医師の方)にうかがいます】	問11 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。(いくつでも○)	
	《問11で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》 問11-1 訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○)	
	問12 あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに○)	
	問13 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)	
	問14 認知症の方を治療するときに困ることは何ですか。(いくつでも○)	
	問15 認知症サポート医※に相談をしたことがありますか。(1つに○)	
	問16 認知症の方の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに○)	
	《問16で「1. ある」と回答した方におたずねします》 問16-1 どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○)	
	問16-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)	
問16-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)		
【歯科診療所(歯科医師の方)にうかがいます】	問17 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。(1つに○)	
	《問17で「1」とお答えの方におたずねします》 問17-1 あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに○)	
	問17-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに○)	
	問17-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも○)	
	問17-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○)	
	問18 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。(1つに○)	
	問19 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医(かかりつけ医)と連携していますか。(1つに○)	
	《問19で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします》 問19-1 その理由は何ですか。(1つに○)	

令和7年度 医療機関調査(案)

【資料3-6】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
薬局（薬剤師の方）にうかがいます	問20 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民はいますか。（1つに○）	
	《問20で「1」とお答えの方におたずねします》 問20-1 居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）	
	問20-2 医師との連携をどのようにとっていますか。（1つに○）	
	《問20-2で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします》 問20-3 具体的にどのような手段が用いられていますか。（いくつでも○）	
	《問20で「2」とお答えの方におたずねします》 問20-4 いない理由は次のどれですか。（いくつでも○）	
	問21 府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋を取り扱っていますか。（1つに○）	
訪問看護師の方です。訪問看護ステーションがいます（訪問看護）	問22 あなたの訪問看護ステーションでの、令和4年 月中の活動状況をお答えください。（①～③それぞれ1つに○）	
	問23 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。（ア～ウそれぞれ1つに○）	
	《問23で、1つでも「3」又は「4」とお答えの方におたずねします》 問23-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。	
	問24 医師との連携をどのようにとっていますか。（1つに○）	
	《問24で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします》 問24-1 具体的にどのような手段が用いられていますか。（いくつでも○）	
ソーシャルワーカー（退院支援担当者、医療ソーシャルワーカー、病院内にいる）	問25 貴医院における令和4年 月中の活動状況をお答えください。	
	問26 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。（いくつでも○）	
	問27 介護保険施設とどのように連携していますか。（いくつでも○）	
在宅医療の実施状況	《ここからは、すべての方がお答えください》 問28 在宅医療が行われている上で、どのような苦労がありますか。（いくつでも○）	
	問29 今後、在宅医療・在宅ケアを推進するために、どのような取組が重要だと思いますか。（いくつでも○）	
地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携について	問30 患者本人のケアマネジャー（介護支援専門員）との連携や情報共有の状況はいかがですか。（どちらかに○）	
	問31 ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。	
	問32 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。 (1) 連携の仕組みづくり(2つまでに○)	
	(2) 地域の人材育成(2つまでに○)	
	(3) サービス・基盤整備(2つまでに○)	
	(4) 情報提供・相談支援の充実(2つまでに○)	
	問33 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。	